

2025年2月14日 第3501回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *防衛大学校 防衛学教育学群長 空将補 中谷 大輔 様

<会長報告> *第1グループ会長幹事会 報告

*ガバナー事務所から

・会長エレクトラニングセミナー (PELS) 開催のお知らせについて

日時：3月8日(土) 10:00~19:00 (9:30~10:00登録)

場所：藤沢商工会館ミナパーク 3F&5F会議室/6F多目的ホール

・青少年交換派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのご案内について

日時：3月8日(土) 15:00~17:00

場所：第一相澤ビル8F「会議室」

・米山奨学生の世話クラブとカウンセラーお引受けについてのお願い

氏名：朴 裁潤 (パク ジェユン) さん 性別：男 国籍：韓国

大学：神奈川歯科大学 (課程：歯学5年)

奨学期間：2025年4月~2027年3月 (期間：2年)

・全国ローターアクト代表者会議、並びに、第37回全国ローターアクト研修会のご案内について

日時：3月22日(土)~23日(日) 研修会テーマ【「おもしろい」を世界に】

場所：興國学園 興國高等学校 大阪府大阪市天王寺区寺田町1-4-26

<委員長報告> *権田会員・梶木会員より新会員の集い 報告

*山下会長エレクトよりネパール視察 報告

<幹事報告> *ガバナー月信No. 8

*例会終了後 第1グループIM実行委員会 開催

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長より2月14日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	107名	70名(4名)	37名	4名	68.52%

メイクアップ：北村会員 地区委員会出席 鈴木(之)、鈴木(豊)両会員 被選理事役員会出席
藤村会員 理事役員会出席

<ニコニコ報告>

- ・三 役 防衛大学校 防衛学教育学群長 空将補 中谷大輔様、本日は横須賀RCにお越し戴き有難うございます。貴重なお話が聞けること楽しみにしています。宜しくお願ひします。
- ・小林(-)、田中、井上、江口、植田、杉浦、齋藤(働)、萩原、長尾、梁井、八木、徳永、岩崎、飯塚、加賀本、杵淵、松岡、前田、笠木、竹株、田邊、八巻、齋藤(眞) 各会員
防衛大学校 防衛学教育学群長 空将補 中谷大輔様、ようこそお越しくださいました。本日の卓話も楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・松岡 会員 入会月祝いとして
- ・6番テーブル澤田マスター、浅葉サブマスター 2月7日6番テーブルミーティングを高橋会長、兼城幹事、比護副SAA、三宅さんに御参加頂き、旬泉坊にて開催いたしました。勝見会員、石田会員、美味しいお酒をありがとうございました。御参加頂きました皆様、ありがとうございました。
- ・吉田(久)、椿、勝見、石田、兼城 各会員 2月7日(金)「つきじ植むら 旬泉坊」にて6番テーブルミーティングが開催されました。澤田マスター、浅葉サブマスター、石田会員、ご

準備ありがとうございました。高橋会長、兼城幹事、比護副SAA、三宅さんにもご参加いただき、美味しいお料理と勝見会員、石田会員からの美酒、楽しい会話を堪能いたしました。

- ・ 2番テーブル山下マスター、柴田サブマスター 2月13日(木)「チャイニーズレストラン凜」にて2番テーブルミーティングを開催しました。高橋会長にも参加いただき9名で少人数ながら大盛り上りのテーブルミーティングでした。
- ・ 越川、齋藤(慎)、寺田、大野(健) 各会員 2番テーブル2/13「チャイニーズレストラン凜」にて開催しました。柴田サブマスター、設営ありがとうございました。大変美味しく色々な話で大盛り上りな会となりました。高橋会長、高級シャンパンありがとうございました。あ！秘密でしたね、これ。
- ・ 高橋会長 6番2番のTMIに参加させていただきありがとうございました。
- ・ 山下会長エレクト ネパールに国際奉仕プロジェクトの現地下見に行つて参りました。後程報告させていただきます。
- ・ 齋藤(務) 地区米山委員長 週末16日(日)、早いもので米山奨学生の終了式を行います。カウンセラー 齋藤真且会員、大変お世話になりました。ありがとうございます。
- ・ 齋藤(真) 会員 明日、以前からカウンセラーをさせて頂いた米山奨学生 朴 熙泰 (パク ヒテ) 君の結婚式がソウルで行われます。今日の夜出発してセブの時同様、弾丸で行つて来ます。
- ・ 大石、木村、児玉、高橋、加藤(健)、角井、梶木、勝見、杉浦、権田、松本(朋)、小山(陽)、齋藤(慎)、加賀本、杵渕、根岸、大野(健)、齋藤(真) 各会員
2月9日、富士スピードウェイで開催された2025年冬の7時間耐久レース (K4GP) で木村会員のレーシングチームが見事優勝されました。129台の頂点と凄い快挙です。次のレースも頑張つて下さい。
- ・ 木村、比護、小山(健) 各会員 ドジャースの春季キャンプがはじまりました。日本人トリオの活躍や大谷選手の二刀流復活への期待が高まりますね。
- ・ 物井 会員 竹株会員、ロッドシュアート「セイリング」和訳でお手伝いいただきありがとうございました。ホームページ見てください。
- ・ 高橋 会長 昨日、初孫が誕生しました。いよいよおじいちゃんです。

<卓 話>

～ 防衛大学校の教育と空と宇宙を守る航空自衛隊 ～

防衛大学校 防衛学教育学群長
空将補 中谷大輔様

本日は、このような卓話の機会をいただきありがとうございます。

私は、防大卒ですので、学生時代の4年間、横須賀市の皆さまにはたいへんお世話になりました。現在は防大の防衛学教育学群長という立場で仕事をしていますので、前段は「防衛大学の教育」、後段は「空と宇宙を守る航空自衛隊」と題して話をさせていただきます。

まず、防大の教育についてです。防大は、世界に通用する国防のリーダーを育てることを目的とした日本で唯一の士官学校です。諸外国では陸海空個別の士官学校が一般的ですが、防大は、創設以来一貫して陸海空の要員と一緒に学ぶ統合の士官学校です。

その防大では、教育において大切にしている3本柱があります。①学科教育・訓練、②学生舎生活、③校友会活動、これら3本柱を通じて、知・徳・体のバランスが取れた将来の幹部自衛官を養成することとしています。

特に学生舎生活は、防大生活の大半を過ごす人格教育の場ですので、一般的な寮のように単に勉強して、寝て過ごすという生活ではありません。学生隊という組織を作り、規則正しい団体生活を通じて、学生自らが規律と服従を身につけ、リーダーシップとフォロワーシップを育成します。校友会活動については、授業後に実施する部活動とさせていただいて構いませんが、学生は、必ず運動部に所属することになります。

一般的な大学生活とは大分異なりますが、学科教育については、一般大学と同様に様々な専門分野を学ぶことができます。文系3学科、理系11学科の計14学科で構成され、幅広い講義が開講されています。防衛省の機関ですので「大学校」とはなっていますが、学位授与機構の審査によって一般大学と同様に学士の学位を取得することが可能です。

学科教育で一般大学と異なる点としては、本校独自の防衛学を教えていることが挙げられます。防衛学とは、国防論、戦略、統率及び軍事史を研究する学問分野であり、防大でしか学ぶことができないものです。現役の陸・海・空幹部自衛官である教授陣が講義をしますので、学問としての学びのみならず、実務経験の話も聞くことで学生にとっては自分の将来像を描く貴重な機会にもなっています。

いずれにしても、学科教育については、授業料等が一切かからず、学生手当をもらいながら学位の取得、大卒の資格を得られますので、防大の大きな魅力の一つと言えます。

私が卒業した28年前に比べると、防大では、新しい施設が増え、教育機材、システムはIT化、デジタル化され、学ぶ環境、生活環境がとても便利になりました。学科も、例えばサイバー・情報工学科といった今のトレンド、時代の要請に応じたものへと変化しています。そして今の学生も、Z世代と言われるように、デジタルツールを駆使する世代です。「不易流行」という言葉があるように、防大、そして取り巻く環境は多々変化している一方で、昔から変わらないものが2つあると感じています。一つは、防大教育の根幹である3本柱です。そしてもう一つは、防大生の高い志です。防大生は、たしかに今どきの若者ではありますが、自らの意思で防大という厳しい道を選び、将来幹部自衛官として公に尽くしたいという高い志を持って学んでいます。これらは今も昔も変わらない点だと感じています。横須賀市の皆さまには、是非今後とも防大生を温かく見守っていただき、防大に対するご理解、ご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

続いて空自の話に移ります。ご存じの通り、我が国には3自衛隊、陸自・海自・空自があり、主として陸、海、空それぞれの領域で行動しています。陸・海の上には必ず空があり、空は全ての領域に跨っていることから、空自は、各領域に跨る架け橋的な役割を担っています。そして自衛隊が行動する上で、空が安全でないと陸、海での活動にも支障をきたしますので、我が国防衛に不可欠な、空の安全を提供する、公共財的な役割があると言えるかと思います。

また空自は、平時有事を問わず一貫して空を守る存在でもあります。陸では平素警察が治安を維持し、海には海上保安庁がありますが、空にはこうした警察力がありません。この点が、警察や海上保安庁がある陸、



海とは異なり、空で行動する空自の特徴といえます。このため、平素から対領空侵犯措置を厳正に実施しており、我が国領空を侵犯するおそれのある航空機や、領空侵犯した外国の航空機に対して、要撃機を緊急発進させ、領空からの退去を警告するなどの一連の行動を執っています。

緊急発進回数の方は、冷戦終結後、一時的に低調な時期はあったものの、2013年度以降は高い水準で推移し続けています。昨年度は、669回で、中国機が全体の約72%、ロシア機約26%を占めています。空自では、こうしたわが国周辺の安全保障環境に適切に対応し、領空主権を守るために、365日24時間、警戒監視をし、必要な体制を保持しています。

空の守りについて話をしましたが、空の先には宇宙があります。そして、宇宙空間の利用は、いまや情報収集や通信など、経済・社会活動に不可欠であり、我が国防衛においても死活的に重要になってきています。宇宙空間には国境の概念がないことから、宇宙利用の拡大、競争は激化しており、実際に、打ち上げられる衛星の増加に加え、スペースデブリと呼ばれる宇宙ゴミが、右肩上がり増加しています。

特に、近年は、多数の小型衛星を低軌道に投入して一体的に運用する衛星コンステレーションの構築が進んでおり、民間衛星を含め、軌道に投入される衛星の数は劇的に増加しています。加えて、一部の国では、他国の宇宙利用を妨げるために対衛星兵器を開発し、衛星破壊実験も行っています。また軌道上の混雑状況から衛星同士の偶発的衝突も生じており、こうした衛星の破壊が、スペースデブリ増加の大きな原因となっています。

軍事における宇宙依存度も高まっており、昨今は中国の軍用衛星増加が顕著です。また一部の国では、衛星破壊実験のみならず、他国の衛星を無力化する、いわゆるキラー衛星を開発しているとの指摘もあります。こうした動きは、スペースデブリの増加と相まって、宇宙空間の安定的利用に対する大きな脅威になっています。

このような脅威に対応するため、我が国も政府全体として取り組んでおり、空自に宇宙領域専門部隊を保持させることが決定されました。これを受け、令和2年に「宇宙作戦隊」が新編され、令和4年には「宇宙作戦群」となり、令和5年からは宇宙領域把握任務、いわゆるSDA（Space Domain Awareness）任務を開始しています。また、令和4年12月に閣議決定された戦略3文書では、近い将来、航空自衛隊から航空宇宙自衛隊へ名称変更することも規定されました。こうしたことから、空自では、地表及び衛星からの監視能力の整備を進めるなど、宇宙領域把握体制、SDA体制の確立に向けた取り組みを推進しています。

空と宇宙に焦点をあて、話をしてきましたが、このほかにも空自の任務・活動は多々ございます。いずれにしても自衛隊が円滑に行動をする上で、地域の皆さまのご理解、ご協力が不可欠です。これなくして活動はできません。横須賀ロータリークラブの皆さまにおかれましては、是非とも地域と自衛隊を繋ぐ架け橋として、ご支援をいただきたくお願い申し上げます。また、どんなに技術が進み、防衛装備品が高度化しても防衛力の中核はやはり人です。「静かなる有事」と呼ばれる人口減少社会にあって、如何に自衛隊の人的基盤を強化していくか、採用者数を確保していくかが、大きな課題になっています。皆さまの周りに防大・自衛隊に関心を持った若者がおりましたら、彼らの背中を押していただくとともに、最寄りの地方協力本部や部隊等に情報提供をしていただけるとたいへん助かります。よろしく願いいたします。

以上で話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 萩原 英恵